

令和5年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）

外国語「英語」（1／5）

学校臨床心理専攻 学校臨床心理専修

以下の注意事項をよく読み、次頁からの問題全てに解答しなさい。

注意事項

① この試験問題の構成と配点は以下の通りである。

問題Ⅰ：〔2頁から3頁〕 配点は30点。

問題Ⅱ：〔4頁〕 配点は30点。

問題Ⅲ：〔5頁〕 配点は40点。

問題Ⅰ，Ⅱ，Ⅲの総計で100点。

② 答案が解答用紙に書ききれなくなった場合は、当該の解答用紙の裏面に続けて書くこと。

令和5年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）
外国語「英語」（2／5）

問題Ⅰ. 次の英文を読んで，問(1)～問(3)に答えなさい。(30点)

著作権の問題により公開できません。

(出典) Christopher A. Kearney. (2001). *School refusal behavior in youth: A functional approach to assessment and treatment*. The American Psychological Association. (但し，出題に際して原文の一部を改編している。)

令和5年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）
外国語「英語」（3／5）

問(1) [①] は、節の見出し部分(下線部(i))及び本文中から同じ単語が抜き出されている。[①]に入る単語として、最も適切なものを以下の1～5のなかから選び数字で答えなさい。

1. Cognitive
2. Imaginary
3. Chemical
4. Somatic
5. Parental

問(2) 本文の [②] の箇所に入る単語として、最も適切なものを以下の1～5のなかから選び数字で答えなさい。

1. communication
2. imagination
3. cognition
4. learning
5. relaxation

問(3) 本文の [③] の箇所に入る語句として、最も適切なものを以下の1～5のなかから選び数字で答えなさい。

1. younger children
2. female children
3. isolated children
4. bright children
5. sensitive children

令和5年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）
外国語「英語」（4／5）

問題Ⅱ. 以下の英文の下線部を日本語に訳しなさい。（30点）

著作権の問題により公開できません。

（出典） The Japan Times. March 12, 2016

<https://www.japantimes.co.jp/opinion/2016/03/12/editorials/truancy-among-non-japanese-kids/#.Ve9OdD_ICX1>（但し、出題に際して原文の一部を改編している。）

*Kyodo News 共同通信社 **municipal government 地方自治体

oversight 監視 *truancy 長期欠席 *****boards of education 教育委員会

*****the Convention of the Rights of the Child 児童の権利に関する条約

*****United Nations treaty 国連条約

令和5年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）
外国語「英語」（5 / 5）

問題Ⅲ. 以下の英文を日本語にしてください。（40点）

著作権の問題により公開できません。

（出典） Rita Carter. (1999). *Mapping the mind*. University of California Press.
（但し、出題に際して原文の一部を改編している。）

* synaesthesia 共感覚

令和5年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）
解答用紙（2／2）

外国語 「英語」

学校臨床心理専攻 学校臨床心理専修
受験番号 ()

Ⅲ：得点
／40点

問題Ⅲ．全文の日本語訳（40点）
